

令和6年7月1日

教育指導課長 殿

令和6年度 教科書展示会実施報告

真砂中央図書館長 猪岡 君彦
(公印省略)

このことについて、教科書展示会（特別・法定）の実施結果を下記のとおり報告する。

記

- 1 開催期間 特別展示会 令和6年6月 3日（月）～6月12日（水）
法定展示会 令和6年6月13日（木）～6月27日（木）
※ ただし、休館日を除く。
- 2 展示時間：午前9時～午後5時
- 3 場 所：小石川図書館
- 4 展示教科書：教科書目録（令和6年度使用）に登載されている、中学校用教科書
- 5 実施結果：（1）意見票数 24名
（2）内訳

①小学校校長・教員	1名
②中学校校長・教員	2名
③高等学校校長・教員	0名
④その他学校の校長・教員	0名
⑤教育委員会関係者	0名
⑥その他	21名
⑦不明	0名

計 24名
- 6 区民意見
 - ・「国語」について、三省堂「現代の国語」が一番見易い紙面、とりあげる作品など、一番今らしいと思います。
 - ・左下に扇形に展示されている「理科、社会、職業／家庭」の教科書が、他と異なるようなので、異なる場合は注記がほしい。
 - ・息子が今使用している英語のキャラクターが好きなようで見にきました。家でも楽しく読んでいましたが、新しいものもおしゃれで素敵だと思います。
 - ・日本の国に誇りを持てる自由社の本が良いと思います。
 - ・最近の教科書はオシャレなものが多くおどろきました。昔、使っていたのは（たぶん）

教育出版社だと思うのですが、内容が全くちがっていてびっくりしました。特に SDGs なども大きく取り上げられていて、QR コードもたくさんついていて、わかりやすいと思います。これからを生きる子どもたちにぜひ読んでもらいたいです。

- とても良い教科書で、今の子どもたちがうらやましい。
- 今の教科書は見やすくなっていることに感心しました。広げられていた国語の教育出版社、光村図書、三省堂と見ましたが、色の使い方にも配慮されているとなっていておどろきました。また、光村図書、教育出版社では SDGs が大きく取り上げられており、これからの子どもたちには必要な考えが出ていると感じました。
- 技術・家庭 家庭分野の内容は、子どもたちの将来の生活にとって、とても大切なことだと思いました。すばらしい教科書だと思います。
- 自由社の「新しい歴史教科書」は、日本人としての誇りを学びの中から育ていける教科書だと思います。同じく自由社の「新しい公民教科書」は、日本人としてどう生きていくかを問い、培っていける内容だと思います。自由社の教科書は、これまでの自虐史観から成る人格形成とは異なり、我々日本人の先人を正しく理解し、敬う気持ちが持てるので、尊厳や自信にもつながる教育となると信じます。是非採択していただきたく存じます。
- 誤った情報ではなく、史実に基づいた教科書で正しい歴史認識を子ども達に学ばせてほしい。これからの国際社会で日本の子ども達を悲しませたくないの、日本人であることの誇りを何とか伝えたいため、自由社の中学歴史・公民教科書を採択していただきたい。イギリス留学時に「日本人は悪い民族だ！」といじめられて大変でした。子供たちに悲しい思いをさせたくないです。
- 自由社中学歴史教科書は多くの困難の後、検定合格となった。二、三例を挙げると、南京事件の事実の有無、十七条憲法を全文記載等であるが、大きく世界秩序が動く現在に適した芯のある「教科書」である事が評価できる。
- 日本の長大な歴史（史実）を将来日本を支える子供達に学んで欲しい。教科書は表紙及び内容の自由社を強くおしたい。いい先生に教えてもらえば子供達の目が輝くはずです。
- 自虐的歴史観にかたよった教科書が多い中で、自由社の教科書はよくできたものだと思います。これからの日本を背負ってくれる中学・高校生にはぜひ日本の誇らしい歴史を学んでもらいたいと思います。自由社の教科書が最良と判断いたします。
- 自分の孫達の本が知りたかったので嬉しいです。通年（図書館などに教科書がある）見られたらいいと思います。教育が一番大切だと思っています。日本を愛する子供達を作りたいです。
- 教科書採択については、学習指導要領に記されている歴史教育のめざす国の歴史についての知識とそれに対する愛情を育成するのにどれだけ役立つ内容か、ということをも明らかにした比較表をつくる。それに基づくべき。
- 歴史教科書について
自由社は「天皇」が日本の国造りにとって重要な役割を担って来た、国民にとって大切な存在であるという扱いで、天皇系図が全て掲載されている。義務教育では初めてだと知り、おどろいた。他社はそうではなかったということだ。又、国のはじまりについては、神話、伝承を取りあげ、素直に神話から、古事記へと学ぶのはよいことだと思います。

- ・私は昭和31年生まれです。戦後の日本の歴史教育は、戦勝国アメリカのGHQによって、アメリカの都合の良い様に変えられた。全く嘘の、日本を悪者に仕立て上げ、日本を貶めるための洗脳の役割を担う道具であったことを最近知り、大変ショックを受けました。そして、それは未だに続いていることに更にショックを受けました。特に近現代の内容は酷い偏向がされている。日本がまるで他国を侵略し、植民地にしてそこに暮らす人々を虐殺し、残酷の限りを行ったように書いてあります。そして、アメリカはそれを止めるために仕方なく原爆を広島、長崎に投下した。お前たちの祖先は、残忍な侵略者だから天罰を受けた。これらは、全て全くの嘘であったのに私は日本人は周辺諸国に申し訳ないことをしたので、ずっと謝り続けなければならないのだと思ってきました。ところが、それが真っ赤な嘘だったとは。

南京大虐殺がなかったことは証明されている。従軍慰安婦は隣国によるでっちあげで、当時そのような言葉すらなく、真実かどうかも確認されていない時から教科書に載せられてきたのです。戦争に関することにあまりにも事実と異なることが多く、そして、そのような教科書によって、私は日本人としての自信と誇りを奪われたのだと思います。アメリカはみごとに日本人を洗脳して封じこめた訳です。歴史教育は人格の形成に大変影響する教科だと思っています。平成18年に教育基本法が改められ、＜伝統と文化を尊重し、我が国の郷土を愛する＞精神を養うという目標が規定されたことはとても望ましいことだと思っています。ですが、その規定が守られ、子供たちが自分の国を好きになり、歴史を学ぶことが楽しくなる。実は世界に誇れる日本の真実が書かれた教科書がほとんどないこと、そして現在文京区で使用されている帝国書院もできれば孫には使われないでほしいと思う教科書だと確認しました。自虐的で、日本に対しあえて嫌悪感を抱かせることをせず、愛国心を育む目標に添っていると思われたのは、自由社と育鵬社2社のみでした。自由社は検定に合格するのに大変苦労したと聞きましたが、子供たちのために真実の歴史教科書を作っていただき、有難く思います。長く、暗いトンネルから抜け出たような、母国を愛せない、モヤモヤから解放される国史を教えてください。今だからこそ、親子3代で読みたいと思う教科書です。ぜひ採択していただきたいです。

- ・教育委員会での各委員の発言とその結果（採択）には「我が国の歴史に対する深い愛情」を育むという学習指導要領の精神を念頭において採択するという姿勢が感じられない。本区使用歴史教科書には、日本が先の大戦で、アジア諸国の独立に多大の貢献を果たしたことに触れられていない。それどころか「大東亜共栄圏」への期待だけ与えただけで、実際は「物資や食料を強制的に取りたてたり、軍の命令に従わない人々を厳しく処罰した」というようなマイナス面ばかり強調している。日本が東南アジア諸国の独立を助け、これらの独立国が集まり、アジアで初めて大東亜会議を開催し、世界初の人種差別撤廃を宣言したこと、日本が白人宗主国との戦争で勝利し、支配勢力を一掃したことが植民地住民に独立への気概を与えたことは厳然たる事実であり、そのことを記述する教科書もある中で、文京区の使用教科書は「多面的、多角的な考察」（学習指導要領）とは言い難い一面的な記述しかされていない。文京区教育委員は学習指導要領に最も適合しているのは、どの教科書かを吟味、議論しているのかどうか憂慮いたします。母国日本に誇りを持ち、日本のすばらしい文化を大切に思う心を育むことに配慮した教科書を採択して貰いたいと思います。その点に於いて、「自由社」のものは、子供たちだけでなく親子で読んで、日本のすばらしさを学び直したくなる教科書

で、とても良いと思いました。

この展示会で、孫たちがどのような内容を学んでいるか知ることができました。今後も
関心を寄せていきたいと思います。